

平成29年度予算案について

～豊かな大阪の実現に向けて～

平成29年2月

大阪市長 吉村 洋文

1 . 平成 2 9 年度市政運営の基本方針

豊かな大阪をめざした政策推進

新たな価値を生み出す市政改革

新たな自治の仕組みの構築

2 . 平成 2 9 年度予算の姿

予算編成の原則

補てん財源に依存することなく収入の範囲内で予算を組むことを原則とするなど、将来世代に負担を先送りすることのないよう財政健全化への取組みを進めるとともに、限られた財源のもとでの一層の選択と集中を全市的に進める

予算の概要

平成29年度当初予算

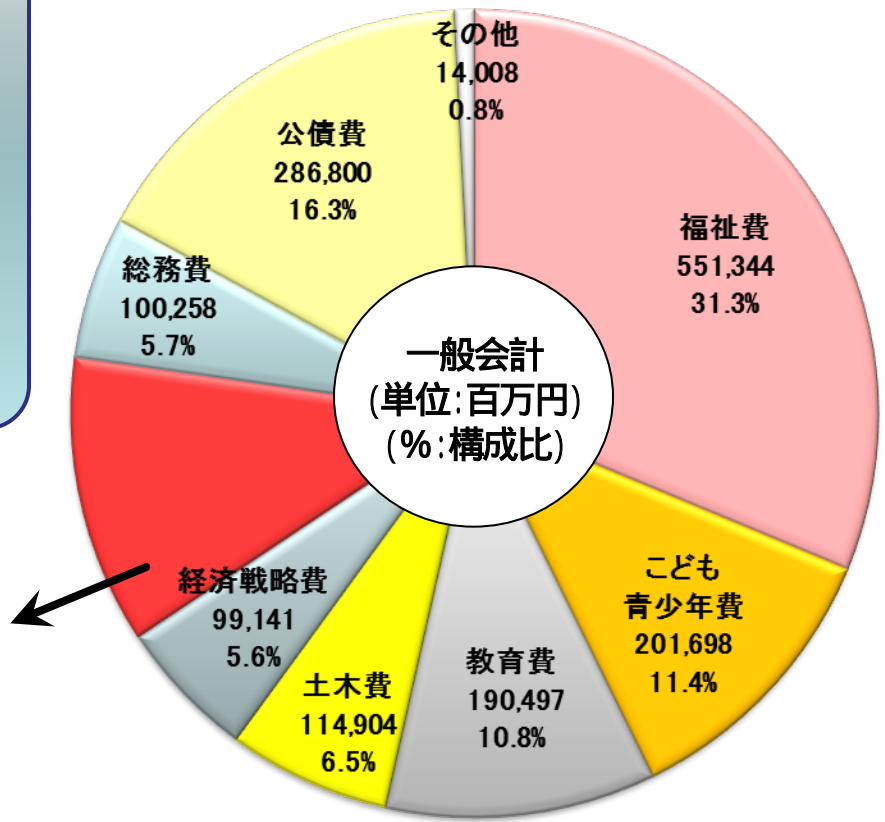
予算総額: 3兆8,341億円
 (対前年度比 +3.7% +1,368億円)
 [+0.8% +305億円]

うち一般会計: 1兆7,627億円
 (対前年度比 +6.8% +1,118億円)
 [+0.3% +55億円]

[]は府費負担教職員制度の見直しに伴う影響を除いた
 実質的な計数との比較

内 訳	予算額	構成比
健康費	48,167	2.7%
住宅費	44,558	2.5%
消防費	37,311	2.1%
環境費	34,268	1.9%
港湾費	16,816	1.0%
大学費	15,709	0.9%
公営企業費	4,583	0.3%
議会費	2,604	0.2%

目的別歳出予算



平成29年度予算の姿

豊かな大阪をめざした政策推進

市民サービスの拡充

- ・ 子育て・教育環境の充実
- ・ 暮らしを守る福祉等の向上
- ・ 各区の特色ある施策の展開

府市一体となった成長の実現

- ・ 大阪の成長戦略の実行
- ・ 都市インフラの充実
- ・ 防災力の強化
- ・ 成長産業の育成

新たな価値を生み出す市政改革

質の高い行財政運営の推進

官民連携と府市連携・一元化の推進

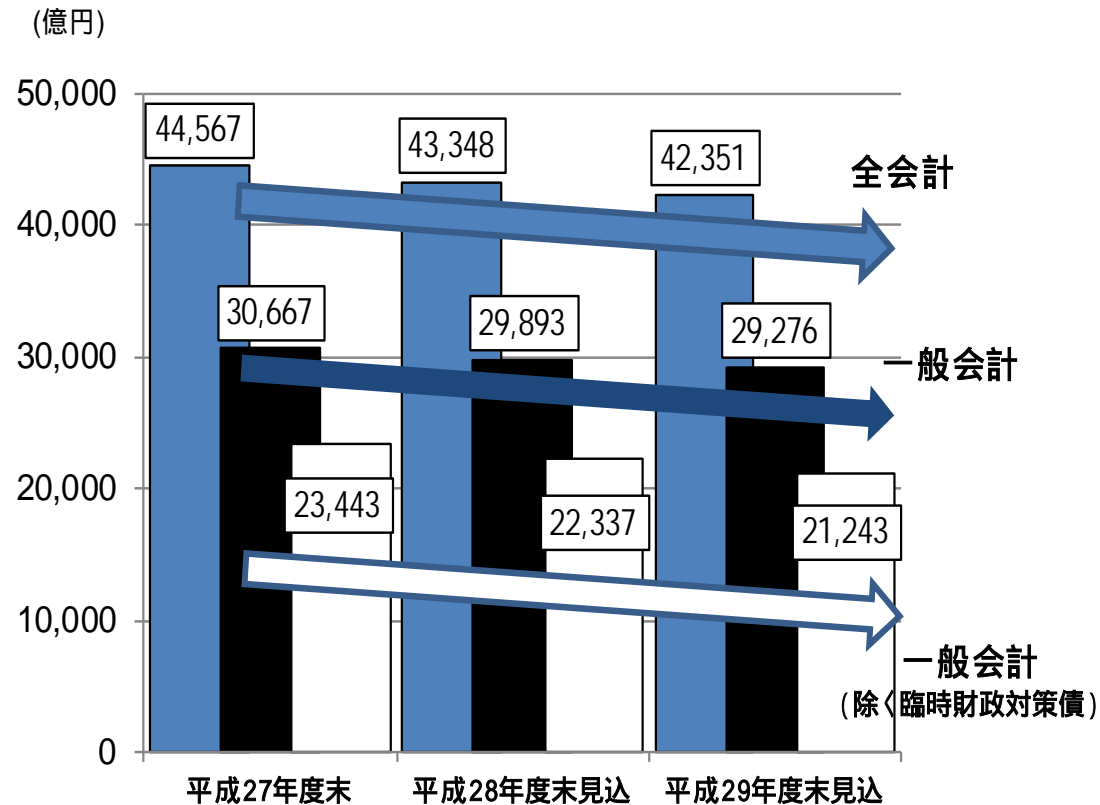
ICTの徹底活用

財政健全化を着実に推進

市債残高の着実な縮減などに取り組むとともに
通常収支の状況を踏まえた予算を編成
[通常収支の状況 199億円の不足]

将来にわたり活気ある豊かな大阪をめざす

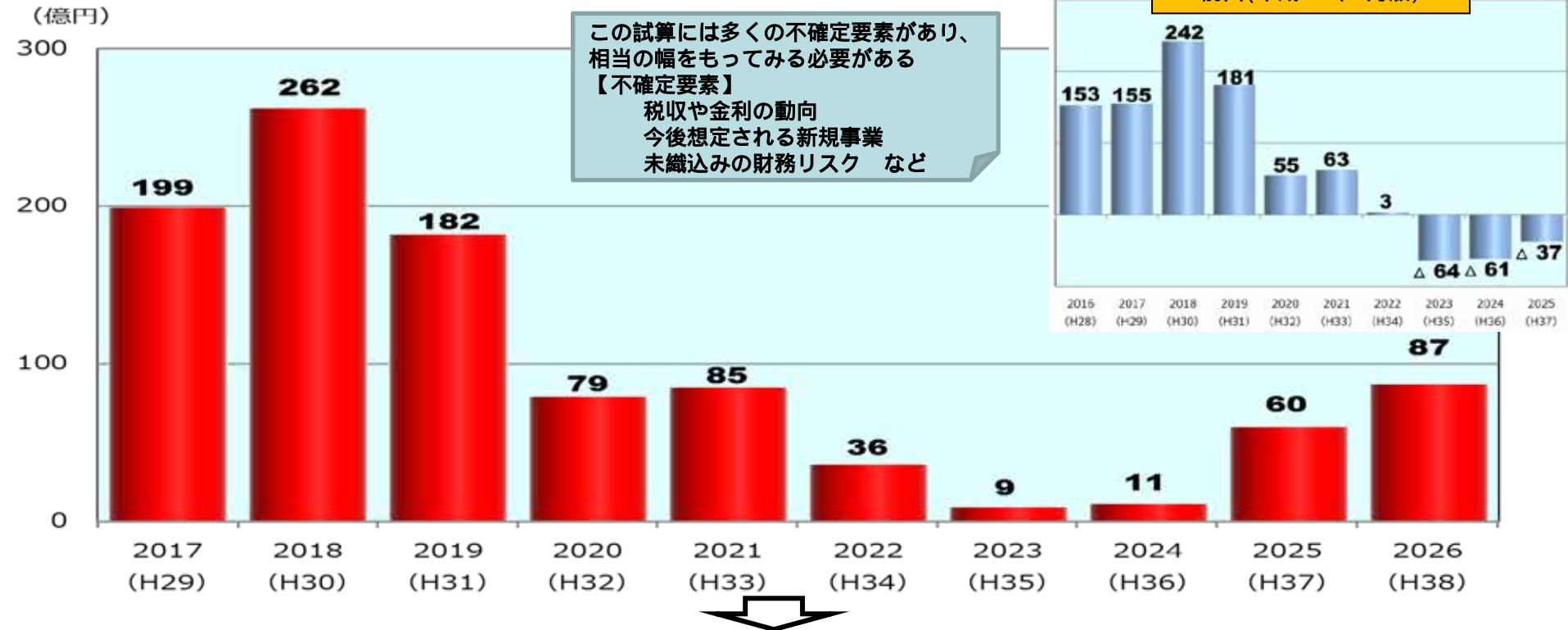
平成29年度予算の姿（市債残高の推移）



- 全会計ベースは13年連続して対前年度比較で減
- 一般会計ベースは、後年度に地方交付税で全額措置される臨時財政対策債を除くと13年連続して対前年度比較で減

平成27年度末の市債残高(一般会計分)は、実質的な比較を行うため、市街地再開発事業会計及び土地先行取得事業会計の廃止にあわせて計数整理した数値

今後の財政収支概算（粗い試算）



通常収支（単年度）の均衡に向けて引き続き市政改革に取り組むとともに、全市的な優先順位付けを行うなど、事業の選択と集中を進めることで、補てん財源に依存せず、収入の範囲内で予算を組むことをめざし、持続可能な財政構造の構築を図る必要がある